

2018年
9月号



みんなでつくる子育てひろば

深川北みずべかわらばん

NO.163

「ありがとう」

今年は梅雨明けが例年より早く、猛暑の続く厳しい夏となりましたね。
猛暑の中でもたくさんの親子がみずべにいらしてくださり、連日ひろばにはこどもたちの賑やかなかわいい声が溢れて、暑い夏も吹き飛ばすような楽しい日々でした。ありがとうございました。さて、みずべのもぐもぐルームには3種の塗り絵を用意しています。こどもたちは自分の塗りたい絵を選んで、事務室に来ては「1番ください」「3番ください」とスタッフに声をかけてくれます。ちいさい時は「1番、2番…」と言っていたこどもたちが語尾に「ください」をつけられるまでに成長し、最近では塗り絵を手渡すと「ありがとう」や「ありがとうございます」とお礼の言葉を言ってくれるようになりました。塗り絵をこどもたちに手渡す度に私も「ありがとう」「おおきくなったね」の想いが胸いっぱい広がります。こどもも大人も「ありがとう」の気持ちでここを通わせることができるそんなあたたかいひろばをこれからも皆さんと一緒に創っていきたいと思います。

山澤 美津子



ひろば通信

江東きっずクラブ明治の3年生の子どもたちが小学生のふれあいタイムでひろばのお手伝いに来てくれました。その中の一人の女の子は5か月のAちゃんを抱っこさせてもらい、緊張しながらもとても嬉しそうなお表情でAちゃんをじーっと見つめていました。

「どう？赤ちゃん重たいでしょう？」とスタッフが聞くと「思っていたよりも重くないよ」と返事をし、「赤ちゃんって本当に小さくて可愛い…」と手や足の指一つ一つを愛でるように触りながら、静かな表情で感動している姿がとても印象的でした。後で引率のスタッフから聞いたところ、その子は、お母さんと一緒に「赤ちゃんってどのくらいの重さかな？」と想像を巡らせて話しながら、この日のことをずっと楽しみにしていたとのことでした。その子にとってAちゃんとの出会いは、一生忘れられないものとして心に刻まれたのかなと思うと、とても嬉しい気持ちになりました。

地域に根差したみずべの中で、年齢の壁を越えた交流がもっと日常的にできると良いなと思っています。今後もこのような機会を定期的に設けていきたいと思っていますのでご協力をお願いいたします。

(宮内 友紀)

